

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第1回登米市男女共同参画審議会
開 催 日 時	平成26年10月16日(木) 午後7時00分開会～午後8時30分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 第4委員会室
議長(委員長 又は会長)の 氏 名	浅野富美枝会長
出席者(委員) の氏名	浅野富美枝委員、伊藤直喜委員、須藤明美委員、尾形重雄委員、 及川さよ子委員、林忠市委員、蓬田恵美子委員、日下修委員
欠席者(委員) の氏名	永島洋子委員、石井あけみ委員
事 務 局 職 員 職 氏 名	企画部長 秋山茂幸、市民活動支援課長 佐藤浩、補佐兼係長 佐藤英雄、 主査 後藤由美子
議 題	(1) 平成25年度男女共同参画の施策に関する推進状況報告書について (2) 登米市男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書について (3) その他
結果及び経過	進行：佐藤課長補佐 1 開 会 2 あいさつ 浅野会長 3 協 議 (1) 平成25年度男女共同参画の施策に関する推進状況報告書について (2) 登米市男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書について (3) その他 4 閉 会
会 議 資 料	【事前送付資料】 ・平成25年度男女共同参画の施策に関する推進状況報告書 ・登米市男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
議長	<p>協議に入る前に議事録署名人を決定したい。 須藤明美委員と及川さよ子委員にお願いする。</p> <p>協 議 (1) 平成25年度男女共同参画の施策に関する推進状況報告書について (2) 登米市男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書について</p>
議長	<p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第2次基本計画に掲げる取り組みのうち、平成25年度に「検討しなかった」及び「成果をあげることが出来なかった」事業について内容の説明を行った。また、男女共同参画に関する市民アンケートについて、調査結果概要の説明を行った。</p> <p>この結果を基に、平成27年度に第3次登米市男女共同参画基本計画の策定を行う。</p> <p>全体を通し、男女共同参画に対する認知度は前回調査と比較して上がっているが、まだまだ不足している部分もあることから、様々な機会を捉え、啓発活動や事業の推進に取り組む必要があると認識する。</p>
議長	<p>報告書について、その特徴を深めたいと思う。 ご質問、ご意見等を賜りたい。</p>
委員	<p>推進状況報告書の9ページ「人権教育での育成」について 成果・課題に「道徳の時数確保・行事内容の検討と改善が求められる」とある。テレビでいじめ問題が取り上げられていて、近年、パソコンや携帯電話によるいじめが多くなっており対応が求められているとのこと。</p> <p>こういった現状をよく踏まえ、社会情勢にあった内容に変えていかなければならないと考える。児童生徒が減少している中で、いじめ等によって、学校や家庭で問題・悩みが起こらないような仕組みづくりが必要である。</p> <p>推進状況報告書の10ページ「学校だよりの発行」について 今後の取り組みの「学校による差が生まれないような手立てを講じていく」というのは、これまでの反省に基づいて今後の取り組みを行っていくということですね。</p>
議長	<p>事務局から補足ありますか。</p>
事務局	<p>社会情勢を踏まえた今後の取り組みの推進ということですので、第3次計画策定の視点として捉え、計画づくりに取り組む。</p>
議長	<p>委員の意見は大変重要な点を突いている。いじめの問題にしても、女性に対する人権侵害にしても、こういったコミュニケーション手段の変化(ネット社会)に対応するためのネットの使い方等を十分に教育されていない社会状況の中で様々な問題が発生していることから、第3次計画において具体的に取り組んでいく必要があると考える。</p>
委員	<p>アンケートの10ページ「結婚について」 40代男性の未婚率は36.4%と高く、これは少子化の原因にもなっているこ</p>

	とから、今後、取り組んでいく必要がある。
議長	未婚化の問題ですね。
委員	男女共同参画社会の問題として捉えている。女性は再婚率が高いが、男性は低い。こういったことも男女共同参画で考えるべき大きな課題で、少子化の問題にもつながる。20代もこういった状況でいったら大変なことになる。
議長	未婚化の問題は、孤立につながったりと様々な問題となる。 ほかに、意見はありますか。
委員	企業に対する啓発は行っているか。報告書では行っていないと思う。
議長	企業に対する啓発に取り組みましたか。
事務局	計画には、ワークライフバランスの取り組みとしてあるが、事業主への啓発や研修会等の開催は、実際のところ進んでいない状況にある。
委員	アンケート回収率について、2,000人を対象に実施し400人からの回収では低いと感じた。
議長	自治体が行っている平均的なアンケート回収率はいくらなのか。
事務局	平均的な回収率について、把握していない。
委員	私も気になり、ネットで見たとところ1,000人未満でのアンケート対象であれば、回収率が20%から80%の間であれば3ポイントから4ポイントの誤差しか含まないということで、信憑性があるとのこと。
事務局	統計学上、十分信頼性における結果である。
議長	研究者が行うアンケートは高くても30%である。現在の社会情勢では、時間的に忙しくて答えられない、高齢であるなど、答えたくても答えられない状態にある方が多い。一般的な回答率はこのぐらいである。
委員	推進状況報告書の6ページ「人権を考える講演会の開催」について 平成25年度が中田中学校、平成26年度は米山中学校で開催。どのように決定するのか。
事務局	毎年、中学校に協議して決定している。市内の中学生が3年間のうちに1回は講演が聴けるように、実施している。
委員	人権を考える講演会に関連して、照英さんを講師に「男性の子育て参加」をテーマに講演会を開催した結果、参加した96%の方が人権問題に関する関心や理解が深まったとある。しかし、参加者は年齢層が高い方々が多く、女性の方が多かった。対象である若い男性（パパ）に参加してもらえるようにすべきだった。
委員	平日（木曜日）では、子育て世代の男性の参加は無理だったのではないかと。参加してもらうために、どのように考えるか。周知・情報提供にも課題が

	<p>ある。</p> <p>以前テレビで、会社勤めの男性が、子どもと一緒に弁当を作り子どもが喜んだことがきっかけで会社にイクメン部をつくって、会社の若い人たちと土日や休みの日に子どもを連れて公園で遊んだり料理をしたりした。これには、他の企業も賛同し400人ぐらい集まったと取り上げられていた。</p>
議長	<p>先ほど委員から企業に対する取り組みについて意見が出されたが、国も企業に対し女性の登用についての数値目標の設定や義務化ということを行っている。他自治体では、企業の良い取り組みを市の広報に載せるなど様々な啓発を行っている。知恵と工夫が必要である。</p>
委員	<p>学校だよりの発行で、成果・課題に「心を育むことにもつながっている」とある。学校だよりは、親向けかと思っていたが、子どもに向けてのおたよりということでしょうか。内容的に「子どもも読んで、親も参考になる。」そういった学校だよりを目指すことが必要だと思う。</p>
議長	<p>学校教育課と連携が取れると思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>学級だよりは、作成する先生によって書き方や発行期間が違う。学校だよりは、校長先生が家庭に向けて出しているように感じる。</p>
委員	<p>推進状況報告書の20ページ「防災組織への女性の参加促進」について地域防災計画の見直しに、「要配慮者を支援する体制整備」とあり、担当する課が防災課とあるが、要配慮者は防災課ではなく社会福祉が担当ではないか。</p>
事務局	<p>防災計画の所管は防災課になる。内容については、関係課と意見の調整をしながら盛り込んでいるものである。</p>
委員	<p>地域の人たちが、要配慮者を認識しているだろうか。</p> <p>要配慮者には10項目あり、要配慮者に該当する方を名簿に載せるのには、本人・家族が了承した場合に載せることになっている。</p> <p>自分で避難できない方を支援するため、どういった手助けをしていくのか。この計画は、自分から手をあげて助けや支援を求めるような計画になっている。認知症や肢体不自由者などの支援は男性の力だけでなく女性の支援も必要である。</p> <p>それから、災害現場における男女共同参画の取り組みに「みんなで備える防災・減災のてびきの配布」とあり、配布先が民生委員児童委員、人権擁護委員、婦人防火クラブ他とある。「他」とはどこか。</p>
事務局	<p>行政区長、公民館（ふれあいセンター）、支所である。</p>
委員	<p>私も行政区長であるが、配布された記憶がない。明日、迫町域の防災研修会がある。その場で皆さんに「てびき書をお持ちですか」と聞こうと思っている。災害時には地区住民について把握している行政区長の役割が相当大きい。行政区長に配布しなかったらまずいなと思う。</p>
議長	<p>防災における男女共同参画については、第3次基本計画の中で重点項目として取り上げなければならないことである。</p> <p>関連して38ページの「法律・条例による審議会等」についての2段目。登</p>

	<p>米市防災会議への女性の委員数が0ですが、これはどうにかしないとイケない。</p> <p>事務局で、改善する方策は考えているか。</p>
事務局	<p>防災会議の委員は、市役所や関連団体の幹部などが充て職となっている。幹部職員は男性が多い。</p>
議長	<p>有識者を入れるなどの方法がある。ぜひとも検討を頂きたい。</p>
委員	<p>在宅介護についてですが、介護になったとき、仕事を辞めるのは女性がほとんどです。それを支援する施設は何百人待ちの状態。介護に直面するのは40～50代です。介護の問題は、40代になれば目の前の課題となります。こうした課題も改善しないと、介護が終わったときには60才を過ぎています。</p> <p>介護支援のプログラムが、登米市にもっとあってもいいと思う。介護支援の取り組みは、県南が進んでおり、県北が遅れていると言われている。</p> <p>介護の問題は、今後ますます進んでいくことから、是非、登米市でも介護をする方も仕事を続けるための方策を作っていただきたい。</p>
議長	<p>介護における男女共同参画ですね。ワークライフバランスという言葉がある。通常、「仕事と子育て」と捉える方が多いが、「仕事と介護」の両立でもある。また、アンケート調査では、地域活動に女性がなかなか入っていけない理由として、介護や子育てなど家事が忙しいからという結果が出ており、「仕事と地域活動」の両立という意味でもある。</p> <p>次期計画では、介護も含めて実効性のあるものを作っていきたい。</p>
委員	<p>推進状況報告書38ページからの審議会等委員に女性が少ない。そこを改善していった方がいい。私もいろんな委員をしているが、女性の意見は通るようで、実際は通っていないことが多いのかなと感じている。もちろん、一方的に言うだけでは事が進まないことも分かるが、登米市を良くしたいと思ったら、女性の方が活動力って言うんですか、今の時代だと強いような、活発なような気がする。</p>
議長	<p>充て職だとどうしても男性になってしまいます。充て職以外の要素をどうやって取り入れていくのか。たとえば公募制であるとか。それは知恵を絞って、できるようにしたい。</p> <p>このほかに、ここは強調しておきたいという意見がおありでしたらぜひお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>様々な意見が出ましたが、事務局からコメントはありますか。</p> <p>審議会等の女性委員の登用について、充て職も多く入っていることから、こういった状況になっていることもある。</p> <p>ただ、公募委員については男女の区別なく行っているが、どちらかという男性の応募が多くなっている。女性の応募について、是非、啓蒙をお願いしたい。</p> <p>公募は応募した動機などについて作文による審査をするが、透明性を高める観点からも、新たな制度を検討しており、登録制にして無作為抽出を行うような、誰でも参加できるような制度について内部で話し合っているところである。</p>

委員	併せて、なかなか自分では一步踏み出せない方もいるので、推薦制度についても検討をお願いしたい。
事務局	委員の就任は最終的には本人の意思によりますが、検討に加えたい。
議長	<p>最後に、これから審議会として取り組んでいくことになる第3次登米市男女共同参画基本計画の策定に向けて、今後どのように進めていくかについてお話ししたい。</p> <p>これまで多くの自治体では、行政（事務局）で80から90%出来上がったものを審議会へ提案して、そこで多少の手直しはあっても、ほぼそれで通ってしまうというのが多かったが、最近ではそういったやり方が非常に少なくなっている。</p> <p>登米市の第1次基本計画では、策定委員が柱を立てるところから始まった。先程から、各委員の発言を聞いても得意分野（関心をお持ちの分野）があるので、だいたい第1～第3部会まで作ってそこで話し合いを持ちたい。登米市の男女共同参画に関する条例や基本計画はそういった作り方をしてきた。</p> <p>審議会の開催回数は限られているが、部会毎に自主的な話し合いを持つために、事務局では場所の提供等を行っていただきたい。</p> <p>この人数で市民の意見を反映するためには、専門家のところへ聞き取りに行ったりすることが必要になる。いずれにしても、審議会委員が中心となって作成していくが、より広範な市民の意見をどうやって反映させていくかについて工夫していくことが必要である。</p> <p>委員は、人権擁護委員などであるので、それぞれの持ち場や会議のなかで意見聴取をしていくのも必要な事なのかもしれない。</p> <p>第3次基本計画は最終的に市長に答申するが、基本計画を作る途中や最終的な段階で、市民に対して周知をすることも必要である。パブリックコメントの方法もあるが、多くの自治体ではホームページで実施しており、なかなかコメントが来ないのが現状である。実際に市民と対面で「こういう計画になっているが、皆さんどう思いますか」という方法で行っていくことが必要。</p> <p>作っておしまいではなく、作ってからがスタートです。</p> <p>委員から何か意見はありますか。</p>
委員	その通りだと思います。
委員	私は、条例づくりの際に策定委員として参加したが、やはりこの場で作るのではなく、9町域に出かけて行って、皆さんの意見を集めることが大切。
議長	<p>行政も大変だと思うが、審議会の意向である。予算の都合もあると思うが、よろしく願います。</p> <p>以上で協議は終了します。</p> <p>(4) その他 男女共同参画フォーラム P T Aパワーアップ講演会のお知らせ。</p>